

12月沿岸定線栄養塩測定結果

令和元年12月24日
岩手県水産技術センター
TEL0193-26-7919

1. 表面分布 (図1)

ワカメ漁場に近い10海里以内の表面における栄養塩 ($\text{NO}_{2+3}\text{-N}$) の濃度は、24から49 $\mu\text{g/L}$ で概ね過去 (2012-2018年平均) の結果と同じ傾向であった。30海里及び50海里では、尾埼定線及び椿島定線において過去の結果よりも低くなった (平均: 25 $\mu\text{g/L}$ 、過去平均: 42 $\mu\text{g/L}$)。なお、採水は漁業指導調査船岩手丸により、0、10、30、50海里地点で11月26日から11月27日に実施した。

2. 10m以深の分布 (図2、図3、図4)

採水機器点検のため、採水は実施しなかった。

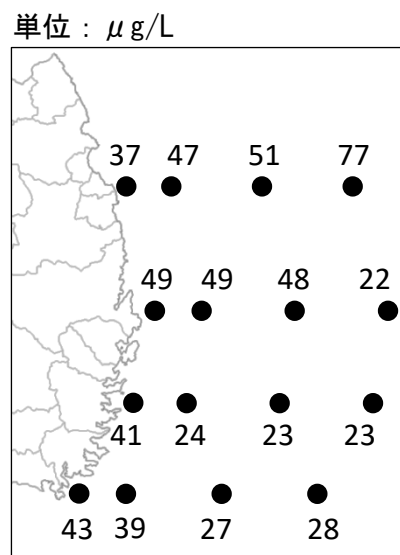
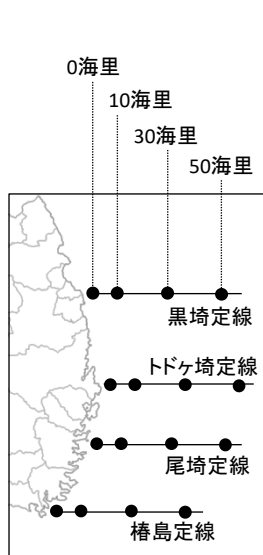


図1 表面の分布



図2 10m層の分布



図3 30m層の分布



図4 50m層の分布

※背景地図にはCraft MAPを使用 (<http://www.craftmap.box-i.net/>)

【参考】

・栄養塩 (硝酸+亜硝酸態窒素 $\text{NO}_{2+3}\text{-N}$) の単位は $\mu\text{g/L}$ で表す。

※本観測の一部は「環境省 平成31年度地域適応コンソーシアム北海道・東北地域事業委託業務」における「海水温の上昇等によるホタテガイ及びワカメ等の内湾養殖業への影響調査」の一環で実施している。